

# 令和2年度 奈良市子ども会議 意見書



令和2年度「奈良市子ども会議」子ども参加者名簿（応募受付順・敬称略）

番号	氏名	学校名	学年	年齢
1	マツダ ヒロタダ 松田 昊也	都南中学校	2	13
2	オオモト カンエイ 大本 幹英	京西中学校	2	13
3	イバラキ メグ 茨木 恵	京都教育大学附属高等学校	2	17
4	クリモト 栗本 みどり	京都教育大学附属高等学校	2	17
5	フジガミ ヒメミ 藤上 媛美	東市小学校	5	11
6	タニダ トシアキ 谷田 俊明	春日中学校	1	13
7	アカサカ ムサシ 赤阪 武紗志	春日中学校	1	13
8	モリモト ロゼ 森本 楼世	伏見中学校	1	13
9	マスダ シュウエイ 増田 修英	右京小学校	5	11
10	マエダ リオ 前田 梨緒	伏見中学校	2	14
11	ムカイヤマ ハルト 向山 温登	上宮高等学校	3	18
12	シバサキ 芝崎 もも	奈良女子大学附属中等教育学校	2	14
13	マントク カズヒロ 万徳 一弘	伏見中学校	1	13
14	シブタニ イッシン 渋谷 一心	都跡中学校	2	14
15	ツジ カイト 辻 海翔	伏見中学校	2	14
16	オオバ シュンゴ 大庭 駿吾	明治小学校	6	12
17	タニダ ニコ 谷田 仁胡	済美小学校	4	9
18	シバタ 柴田 ふうか	春日中学校	2	14
19	シミズ 清水 イチロー	春日中学校	1	13
20	ハシナガ メイ 橋長 芽生	春日中学校	1	13
21	ナカニシ スミカ 中西 澄夏	伏見中学校	1	13
22	ゴイシ タクミ 五石 拓見	伏見中学校	2	14
23	マブチ イチカ 馬淵 毎歌	明浄学院高等学校	1	15
24	タナベ ミウミ 田辺 美海	登美ヶ丘北中学校	3	15
25	イシダ ワカバ 石田 若葉	一条高等学校	1	15
26	フルカワ タイチ 古川 太一	一条高等学校	1	15
27	サイトウ サクラ 斎藤 咲良	一条高等学校	1	15
28	オグニ サヨ 小國 咲代	一条高等学校	1	15
29	シバ チヨリ 柴 知依	一条高等学校	1	15
30	オノデラ リノン 小野寺 凜音	伏見中学校	1	13

# 令和2年度「奈良市子ども会議」 話し合いテーマ一覧

①令和元年度子ども会議提案内容実施にあたって、どんなコロナ対策が必要か？

※令和元年度子ども会議提案内容  
日本文化のイベント、奈良のおすすめスポットの広報活動、街頭インタビュー

②コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？

③「奈良に行ってみたい！」と思ってもらうためにはどうしたらいいか？

A～Eの全5グループに分かれ、上記3つのテーマについてそれぞれ話し合いました。

## Aグループ

## メンバー

谷田 仁胡                  藤上 媛美                  増田 修英                  大庭 駿吾  
谷田 俊明                  小野寺 凜音

## 提案内容

①令和元年度子ども会議提案内容実施にあたってどんなコロナ対策が必要か？

## 【日本文化のイベント】

- ・マスクをつけてもらい、検温を行う。アクリル板を設置する。
- ・対面ではなく、オンラインで体験イベントを実施する。見ながらできることなら、家でもできる。  
⇒例えば、「茶道」の体験イベントをするのであれば、茶道に必要なものを参加者に送ってあげたり、事前に接続テストを行う。

## 【奈良のおすすめの場所の広報活動】

- ・街頭でポスターを配付するのではなく、サイトやテレビを使って広報活動をする。

## 【街頭インタビュー】

- ・直接話すのではなく、オンラインでインタビューを行う。  
⇒家からでも手軽にできるし、コロナ対策にもなる。
- ・テレビを設置して、話しかけてきてくれた人にインタビューを行う。
- ・マスクを着用して、ソーシャルディスタンスを確保して、3密を避けてインタビューを行う。

②コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？

- ・動画をアップして、オンラインで宣伝する。  
例えば、奈良の有名なもの（食べものや場所、にぎわいの家など）の動画をYouTubeなどにアップすれば、行った気分になれる。
- ・通販サイトやふるさと納税でおみやげを売る。  
（例）しかまるくん・せんとかんグッズや食べもの、藍染めのマスクなど

③「奈良に行ってみたい！」と思ってもらうためにはどうしたらいいか？

- ・動画としてYouTubeにアップする。  
→動画の内容は、奈良の有名な場所、イベント、世界遺産の紹介、奈良のキャラクター、奈良で行っているコロナ対策など。
- ・「奈良はいいところだ」と思ってもらえるように、笑顔で接して奈良県をアピールする。

## Bグループ

## メンバー

赤坂 武紗志

橋長 芽生

森本 楼世

柴田 ふうか

辻 海翔

松田 昊也

## 提案内容

①令和元年度子ども会議提案内容実施にあたってどんなコロナ対策が必要か？

## 【日本文化のイベント】

- ・人数制限をする。
- ・ホームページでにぎわいの家の混雑状況を確認できるようにする。
- ・予約制にする。
- ・手洗い、うがい、換気をこまめに行う。

## 【奈良のおすすめの場所の広報活動】

- ・ネットを活用して、奈良のイベント情報を発信する。

## 【街頭インタビュー】

- ・マスクの着用、消毒などのコロナ対策を心がける。
- ・観光客に対して、どこから来たのかシールを貼ってもらって確認する。
- ・駅の前にパソコンを配置してリモートでインタビューする。

②コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？

- ・カメラで奈良の状況をリアルタイムで配信する。  
あとからでも見られるように動画を残しておく。
- ・ホームページで今の奈良の風景を写真で公開する。
- ・SNSでも動画を配信してハッシュタグをつけて広める。

③「奈良に行ってみたい！」と思ってもらうためにはどうしたらいいか？

- ・ポスターや動画などで配信する。
- ・子ども会議のYouTubeチャンネルをつくって奈良の良さを配信する。  
⇒奈良の柿の葉寿司や三輪そうめんづくりを体験できるイベントや、売っているお店見学の様子などを配信する。
- ・奈良漬けなど奈良の食べものを抽選でプレゼントする。

## Cグループ

## メンバー

万徳 一弘      中西 澄夏      清水 イチロー      前田 梨緒  
大本 幹英

## 提案内容

## ①令和元年度子ども会議提案内容実施にあたってどんなコロナ対策が必要か？

## 【日本文化のイベント】

- ・パフォーマンスは録画して配信する。
- ・使ったものは消毒する。
- ・花火で奈良を応援する。（線香花火であれば距離をとってできる）

## 【奈良のおすすめの場所の広報活動】

- ・パンフレットなどを配るときは、マスクや手ぶくろを身に着ける。

## 【街頭インタビュー】

- ・奈良県外の「奈良ファン♡」（奈良に行きたい人、行ったことがある人など）を募集してインタビューする。
- ・インタビューする班の人数を減らす。
- ・距離をとってインタビューする。
- ・インタビューするときは予約にして、時間帯をずらす。
- ・ホームページでアンケートを作って、インタビューがわりに答えてもらう。

## ②コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？

- ・行事はYouTubeなどで配信する。
- ・体験（お茶など）は材料などを自宅へ送ってMeetなどでレクチャー。
- ・観光名所を動画で配信する。
- ・自分たちでならまちをまわって散策動画を配信する。

## ③「奈良に行ってみたい!」と思ってもらうためにはどうしたらいいか?

【「奈良を知ってもらおう!」をテーマに広報活動】

- TwitterやYouTubeチャンネルで「#奈良ってみた」投稿  
「〇〇ってみた」シリーズを更新して行って、  
より詳しく、よりおもしろく奈良について世界中の人にアピールしていく

例えば…「お茶体験やってみた」「鹿とたわむれてみた」  
「奈良に関する質問に答えてみた」  
「奈良の炭を使って書道やってみた」  
「和菓子作りしてみた（鹿モチーフの練り切りとか?）」  
「柿の葉寿司つくってみた」  
「奈良の行事に行ってみた（おんまつり・燈花会）」 など

- ※「鹿とたわむれてみた」の動画では、地元の人や自分たちのような  
地元の小中学生、高校生、大学生、奈良出身の有名人、お店の人に出てもらおう。
- ※「奈良に関する質問に答えてみた」の動画では、奈良に関する質問を募集して答えていく。

その他の案

- 奈良の七不思議さがしをして、子どもに興味を持ってもらう。
- 奈良出身の芸能人に出演してもらう。

## Dグループ

## メンバー

渋谷 一心      五石 拓見      芝崎 もも      田辺 美海  
斎藤 咲良      柴 知依      茨木 恵

## 提案内容

## ①令和元年度子ども会議提案内容実施にあたってどんなコロナ対策が必要か？

## 【日本文化のイベント】

- ・オンラインでできるものにしばって体験イベントを実施する。  
例えば、書道の場合は、筆を自宅に送ってあげて、1つの簡単な漢字をレクチャーして書いてもらう。
- ・もしにぎわいの家で実施するのであれば、消毒を行ったり、たくさんの人が1つのものを使うのを避ける。
- ・流しそめんななどの食べ物関係のイベントは感染リスクがあるので避ける。
- ・講談師の話を書くなどのイベントは、距離をとればできるのでは？
- ・少人数制で行う。
- ・奈良のゆるキャラと写真撮影。

## 【奈良のおすすめの場所の広報活動】

- ・チラシやポスターを配るのではなく、SNSなどのオンラインで広報活動をする。
- ・観光客に、東大寺などの奈良の観光スポットに来た感想をSNSにアップしてもらう。
- ・オンラインツアーを行う。
- ・観光地の近くに奈良のいいところをまとめた資料をはってもらうか、チラシを置いておく。
- ・ポスター原案を考えておいて、コロナが落ち着いたら配りに行く。

## 【街頭インタビュー】

- ・インタビューする際は、マスク+フェイスシールドをつけ、検温を実施する。
- ・インタビューする側とされる側で、どう人を配置するかを事前に決めておく。  
(どれくらいの距離をとるか等)
- ・インタビューの相手が日本人か外国人かで、インタビュー内容を変える。

## ①日本人の場合…

- ・実際に奈良を訪れている人に「奈良の楽しみ方の裏ワザ」を聞いてみる。  
単なる「楽しかった」だけではなく、より深いことを聞くことができる。

## ②外国人の場合…

- ・Twitterなどでインタビュー相手を募集して、Zoomでインタビューを行う。  
インタビューの相手として、奈良に来たいと思っている外国人と、奈良に来たことのある外国人の2パターンを想定。
- ・通訳の人に入ってもらってもいいが、話す言語を「英語」だけに限定するなどして、なるべく自分たちができる範囲でインタビューを実施する。  
必要であれば、Googleの翻訳アプリを使う。



## 提案内容 2枚目

②コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？

- 奈良のイベントをライブ配信する。（例：おんまつりのライブ配信）
- 奈良に来る予定だった人を募って、カメラで歩いてリモートで観光案内する。  
⇒ その人が行ってみたいところまで歩いて、カメラで映してあげる。
- 奈良をめぐった気分になれるVRをつくって、YouTubeにアップする。
- ストリートビューみたいに、東大寺や興福寺の中が見れるようにする。
- おみやげや特産物を郵送で届ける。

③「奈良に行ってみたい！」と思ってもらうためにはどうしたらいいか？

- 年齢関係なく幅広く広報する。
- 奈良の観光スポットをまとめた動画をつくる。
- 奈良で使えるクーポンを作成する。（コロナが落ち着いたら使えるようにする）
- お年寄りへのPRとして本を発行する。
- 手作りの書き込みのあるマップやポスターをつくる。  
（例）千年前のマップ、かき氷マップのようなもの
- Instagramや電車の広告などいろいろなところを利用して奈良をPRする。

## Eグループ

## メンバー

石田 若葉      古川 太一      小國 咲代      馬淵 尊歌  
栗本 みどり      向山 温登

## 提案内容

## ①令和元年度子ども会議提案内容実施にあたってどんなコロナ対策が必要か？

## 【日本文化のイベント】

- ・参加人数の制限、消毒、マスク着用。（コロナ対策の基本的なことを行う）
- ・ソーシャルディスタンスを確保できる体験イベントにしぼって実施する。
- ・けん玉や書道などの体験をリモートで行う。

## 【奈良のおすすめの場所の広報活動】

- ・ポスターで広報  
配るのではなく、観光客がよく来る場所（駅の掲示板など人目の多いところ）に貼る。  
※配布時に接触しないことが大切。  
ポスターの横にコロナ対策実施中の紙を貼っておく。  
地元の人しかわからないようなおすすめスポットも紹介する。
- ・外に出ない人も多いので、SNSサイトメインで広報。

## 【街頭インタビュー】

- ・ソーシャルディスタンスを保つ。
- ・台紙にシールを貼ってもらう。
- ・インタビューを対面で実施するのではなく、観光地にQRコードを設置してアンケートに回答してもらう。もしくは紙に書いて箱に入れてもらう。
- ・奈良に興味のある人を募って、リモートで実施。

- ②コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？
- ③「奈良に行ってみたい！」と思ってもらうためにはどうしたらいいか？

**【広報活動】**

- SNSメイン（YouTubeライブ配信、「どこでも奈良」動画アップ）  
写真、アップする動画の中身  
⇒ 有名な場所（今の奈良公園の様子など）、実際に行ったらすぐ見られるような景色、奈良のありふれた日常など  
おすすめスポットを回ってロケ、コメント付きで紹介する。  
奈良県で実施しているコロナ対策もあわせて広報。
- SNS投稿だけではなく、プラスαで特典をつける。  
オリジナル絵葉書、奈良で使用できる券、動画見たよといったら割引になる など  
※プレゼント企画  
⇒ 金銭的に難しければ、抽選で選ばれた数名にプレゼント。  
（クイズで何問正解とか、コメントをくれた人の中から抽選）
- SNS拡散方法  
奈良県にいるインフルエンサーの方や市長さんなどに、奈良の画像（お店など）を投稿してもらっておすすめしてもらう。自分たちでハッシュタグを作って、しみんだよりのワンコーナーとかに「#〇〇で奈良のおすすめスポットを宣伝しよう」で画像投稿してもらうよう呼びかける。  
  
※その他の案  
スタンプラリー形式：QRコードを読み込む形式。行った場所の写真とハッシュタグで拡散。
- 年配の方に対するの広報（外国人+奈良県に住んでいる人にも向けて）  
しみんだよりのワンコーナーを使って、自分たちで記事を書く。  
（子ども会議の記事もあわせて掲載）  
テレビやラジオ、新聞の折り込み、喫茶店にお知らせを設置、回覧版などで広報。

## 第1回目（12月24日）で話し合ったテーマ

コロナ禍<sup>か</sup>で自分たちが感じていたこと

## 内容

① コロナによる自粛<sup>じしゅく</sup>状況の中（3～5月ごろ）で感じていたことは何ですか？

- LINEやGmailを通して会話はしていたけど、友だちと会えなくてさみしかった。
- イベントが中止されたりして、いろいろなストレスや不安がたまっていた。
- オンライン授業が始まったときは授業が楽しくなかった。普段とちがって一方通行な授業が嫌だった。
- 受験がどうなるんだろうという不安があった。また、受験が終わった後も毎日のようにニュースで感染者〇〇人というのを見てだんだんこわくなってきて自粛していた。
- 友だちや家族がコロナになるか心配だった。

## ② 学校が再開されたときはどう思いましたか？

- 友だちに会えてよかった、うれしかったという気持ちが大きかった。
- 勉強や授業についていけるか不安だった。
- 入学式や始業式があった後に休校になってしまったので、再開されてから新しい環境で友だちができるか、先輩や後輩たちと仲良くやっていたかという不安があった。
- 高校に入学して、わくわくしたり楽しみだったという意見もあったけど、年齢が上がって初めての生活だったので、精神的にも体力的にもしんどかった。
- 体育祭や文化祭などのイベントがすべてなくなってしまったので、残念な気持ちでいっぱい。

## ③ 今、コロナ第3波がやってきていることに対してどう感じていますか？

- またみんなに会えなくなってしまうのかなと思うとさみしいし、休校がこわい、いやだという気持ちがある。
- Go To トラベルがあったり、自粛に慣れて遊びに行ったりしてしまって、冬の乾燥する季節なのに、第1波のときより危機感がうすれていることがこわく感じている。
- コロナになってしまいそうで、こわくて心配。